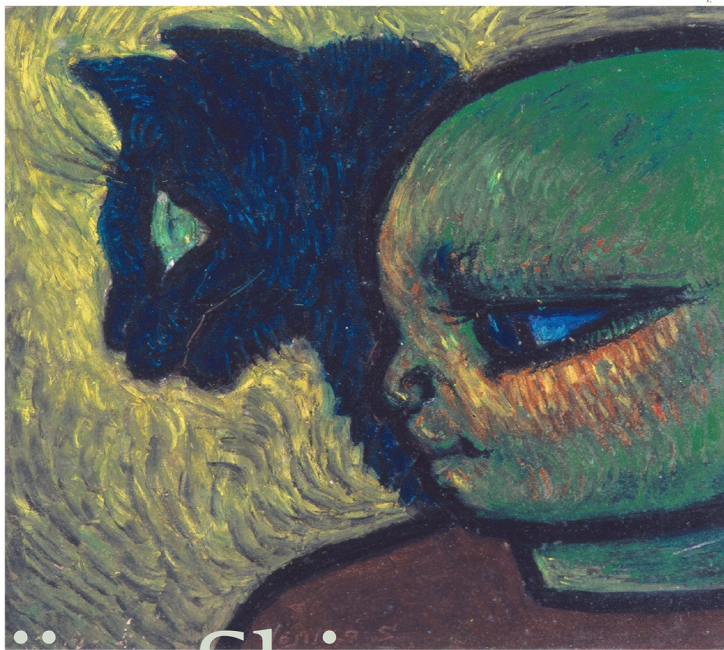


悲哀をこころの奥深く沈めて、
描き出そう。
宝玉をちりばめた如く
輝く一つの絵画を。



Yojiro Shimamura

本賞受賞記念 生誕二〇年

島村

洋二郎

無限の悲哀と無限の美
Infinite Sorrow and Infinite Beauty

2026年

1月24日[土] 3月22日[日]

東御市梅野記念絵画館

◎ 休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、祝日の翌日

◎ 開館時間 / 9:30-17:00(最終入場16:30)

◎ 入館料 / 一般500円(団体400円)

※中学生以下無料 ※団体割引は15名様以上から

◎ 主催 / 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

◎ 後援 / 信濃毎日新聞社



本雨賞受賞記念 生誕二〇年

島村

洋二郎

無限の悲哀と無限の美



島

村洋二郎は一九一六（大正五）年に東京

に生まれ、東京都内と長野県飯田市を拠点に画家として活動するなか、肺結核のため三七歳で夭逝した早世の画家です。晩年のクレパス画は、ゴッホを彷彿とさせる特徴的な筆致によって描かれ、その波乱の生涯を物語ることになる。激動の戦後を駆け抜けた画家の姿は、のちに小説家・田村泰次郎の小説「残された肖像」のモデルにもなりました。

画家の没後、姪の島村直子氏は、四〇年以上にわたり、資料の保存や画集の刊行、展覧会の開催などを通して画家の顕彰活動に尽力してきました。こうした長年の功績により、直子氏は「第十回 本雨賞（主催：梅野記念絵画館友の会）」を受賞しました。本雨賞は、当初創設館長長野隆の志である、忘れられつつある作家の顕彰や重要な研究活動を評価するものです。

本展は、公立美術館では初となる画家・島村洋二郎の回顧展です。生誕一〇年の節目に、大切に受け継がれてきた洋二郎の作品や資料をたどること、信州ゆかりの画家の足跡を改めて美術史に位置付けるとともに、その作品に秘められた悲哀の美しさに迫ります。

会期中のイベント

- 場所:東御市梅野記念絵画館ホール
- 料金:無料

オープニングイベント

1.24 Sat

14:00-14:50 要予約

本雨賞受賞者記念講演

「40年の旅

島村洋二郎の作品をさがして」

●講師:島村直子(第10回本雨賞受賞者)

15:00-15:50 要予約

館長講演

「戦後・人物表現の時代の鬼才

—島村洋二郎のまなざし—

視線、夢想、凝視」

●講師:岡部昌幸(東御市梅野記念絵画館 館長)

クロージングイベント

3.22 Sun

13:00-14:00 要予約

記念講演

「島村洋二郎

遺された資料から見てきた横顔」

●講師:小寺英広(松戸市立歴史館研究員)

14:15-14:55 要予約

島村洋二郎

生誕110年祝い太鼓コンサート

●出演:柳川立行、柳川鼓音、柳川大音

※上記予約制のイベントは

東御市梅野記念絵画館(0268-61-6161)まで

お電話でお申し込みください。

※展覧会観覧には別途入館料が必要です。

学芸員による作品解説

予約不要

1.31 Sat 14:00-

2.22 Sun 14:00-

3.15 Sun 14:00-

※聴講無料(要入館券)

※約40分のご案内となります。開始時間までに

展示室入口にお集まりください。

特別映像展示

船津一監督

「画家 島村洋二郎の眼差し」

(ルトリアン制作、2016年)

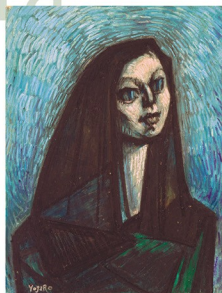
会期中、展示室にて画家の足跡を辿るドキュメンタリー映画を放映いたします!

儚くて美しい、
魂の絵画

Infinite Sorrow and Infinite Beauty

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館
www.umenokinen.com

●389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園
●TEL: 0268-61-6161 ●FAX: 0268-61-6162
●鉄道等の場合/しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分
●お車の場合/上信越道・東部湯の丸ICから約20分



- 1.「顔と心」1953年 個人蔵
- 2.「ステーション」1953年 個人蔵
- 3.「上野公園」1953年 個人蔵
- 4.「少男」1953年 個人蔵
- 5.「若いペールの顔」1951年ごろ 個人蔵
- 6.「花と心」制作年不明 個人蔵